

日本農器株式會社社長 天野千代九殿

註 相模會は職工相互の不測の災害を救助し交誼を親密にすることを目的とし、其の高機関にして大正八年創設せられたるものである。

三 勞農同志會と相愛會

日本主義勞農同志會は社長天野千代九殿を會長とし大化會、黒龍會、林水會等々の分子により爭議直後組織せられたる山家主義を標榜する團體にして共產主義撲滅の旗幟の下に評議會を駆逐軍動、復職を工、護衛等直接間接會社側應援に従事し、或は評議會に立命演説を要求し或は爭議團本部に強諍し入等場合を見せた。相愛會は日鮮融合を目的として組織せられたる金山的團體なるが、漸松本部に於ては偶々四維業團中に立花孝吉と自稱する對人全に對し外敷名、加担を知り是等對人を脱退せしむべく團員敷名を以て爭議團本部に談判せしめ遂に流血騒ぎを演ずる等の事件を起した。

是等團體の存在は假令主義の異なり家の目的に立脚するものと言へども業團の會社擁護團體として却て四維業力を強固するに結果を生じた。

四 横濱分工場へ波及

本社の爭議に刺戟せられたる横濱分工場職工約二百名は(組合の組織なし)五月三日日本社職工と畧々同一なる要求書を提出し急業を九分見たりり會社は同月二十六日回答を以て事なき解決した。次に其の要求と回答とを対照して記述する。

要 求

回 答

第一條 衛生設備の完備を期すること

容 認

第二條 工場内規に依り共済會の設置を認む

容 認 (組織を研

らむこと)

究して提出すべし)

第三條 會計簿を全を明記すること

人工明記は容認、實